

田中耕太郎、齋藤照恵、中村一喜、角田好夫 班

1. 暮らしをめぐる課題等の発表から、特に印象に残ったこと
気づいたこと

- ・高齢者でも、如何に活動し、地域づくりに貢献する。
- ・担い手不足の解消
- ・多種多様なサービスが、それぞれの団体から提供されているが、その区分けがよくわからない？
- ・元気な高齢者の活躍

2. 地域の暮らしをめぐる課題・・・
(福祉、環境(土地、生活)、教育、災害、文化、他)
現在、地域で取り組んでいることは？
自治会、各種団体、NPO等としての取組み
特に頑張っている取組み:◎
この先、不安な取組み:△

- ・うすね小学校でわくわくスクール
- ・スポーツ少年団活動
- ・学校区ごとに見守り隊
- △育成会でイベント
- △町で清掃活動
- △町でおまつり
- ・地域づくり
- ◎卓球教室
- ・区がどんど焼を主催している(以前は厄年の者が主催)。
- ・町で年2回の広報活動
- ◎ホームページ
- ・スポーツ教室
- ・ウォーキング
- ・元気合同グループ
- ・NPO が困窮世帯の学習支援
- ・老人会で健康増進
- ・老人会で趣味の教室

3. 地域の暮らしをめぐる課題の解決に向けて

どのような対策・工夫がありうるか

現在の取り組みを活かすために

より強化する・充実させるために

- ・コミュニティスペースの設置
- ・コミュニティセンターを総合相談窓口
- ・町内全員で月1回、2回清掃する。
- ・行政区を超えたつながりをつくる。
- ・新しい手法を考える。
- ・元気な高齢者づくり
- ・生涯スポーツ
- ・多世代の交流を促進
- ・同じ趣味を持つ人の集まりをつくる。
- ・人を集めるために声かけをする。
- ・人が接する機会をつくる。
- ・卓球教室(練習時)の休息の時に、地域の話しをしてみる。
- ・ホームページなどの情報発信
- ・成功事例の共有化

左部ゆかり、佐藤亜貴、田嶋護 班

1. 暮らしをめぐる課題等の発表から、特に印象に残ったこと
気づいたこと

- ・つないでくれる人がいなければ、解決できない。
- ・各支援グループ(組織)の横の連携。具体的な活動は？
- ・横のつながり(団体も個人も含めて役割別にしない)
- ・ネットワーク

2. 地域の暮らしをめぐる課題・・・

(福祉、環境(土地、生活)、教育、災害、文化、他)

現在、地域で取り組んでいることは？

自治会、各種団体、NPO 等としての取組み

特に頑張っている取組み:◎

この先、不安な取組み:△

◎民生委員の方が一人暮らしの訪問

◎老人会会員が困りごと解決(留守番、動物の世話)

◎高橋場町区(地区民の交通安全)

◎ボランティアで地域のママが子どもたちに英語を教えている。

◎地域の集まりに小学校、中学校が協力

◎防犯、防災のためのパトロール

◎高橋場町区(子どもの安全対策)

◎地区組織:安全を守る会(地区内の防犯運動)

◎高橋場町の安全を守る会(青パト対策、広報活動)

◎農地管理(電気柵の設置)

◎地域の班で草刈りや道路愛護

◎環境(みどりの会、空き家や空き地の管理)

◎高橋場町区(環境対策、花咲クラブ活動)

3. 地域の暮らしをめぐる課題の解決に向けて

どのような対策・工夫がありうるか

現在の取り組みを活かすために

より強化する・充実させるために

- ・見守り活動や困りごと解決に子どもの力を生かす。
- ・困りごとの相談窓口を作る(みんながわかるようにする)。
- ・いろいろ実行していることを他の町に伝えてみる。
- ・地域活動を一覧にする(社会資源マップ)。知ってもらう取組み。
- ・つなげてくれる人(コーディネーター)を中心におく。
- ・ライン等による情報収集と中心となるコーディネーターのグループ化
- ・できる人、できそうな人をお願いする(60歳以上)。

山田良美、松井弘樹、星野盾、地野裕一 班

1. 暮らしをめぐる課題等の発表から、特に印象に残ったこと
気づいたこと

- ・支援する人の不足もあるが、携わらない人も多くいる。自分もそう。もう少しシェアできると良いかと。
- ・他団体、他地区との交流、連携の難しさ
- ・高齢者が支える側になってもかまわない。
- ・ネットワークを機能させるためにラインは有効
- ・顔を寄せ合って話しをする必要性
- ・担い手の不足→機能強化
- ・ラインで要望。それに答えてくれる人がいる。
- ・地域ネットワーク

2. 地域の暮らしをめぐる課題・・・
(福祉、環境(土地、生活)、教育、災害、文化、他)
現在、地域で取り組んでいることは？
自治会、各種団体、NPO 等としての取組み
特に頑張っている取組み：◎
この先、不安な取組み：△

- ・学童クラブ
- ・サロン活動(社協)
- △要支援者の移動支援の検討(社協)
- ・除雪支援活動(雪かき:社協)
- ◎環境整備による地域の草刈り 年4回
- ・花植え
- ◎地域づくりサミット
- ・消防団 消防団活動
- △〇〇町(地区) 自主防災会
- ・町区、地区 各種地区活動(区費、回覧、各種集金、交通安全)
- △老人クラブ
- ・育成会、青育連など(地域の子育て)
- ・郷土史編纂(郷土史編集)
- ・PTA(学校教育参画)
- ・お祭りの会(子どもの太鼓練習、お祭り手伝い、飲み会)
- △主任児童委員(結いっこ)

3. 地域の暮らしをめぐる課題の解決に向けて

どのような対策・工夫がありうるか

現在の取り組みを活かすために

より強化する・充実させるために

- 〔・ネットワーク
- 〔・ネット、SNS、ラインの活用
- 〔・見える化
- 〔・詳細を理解してもらう
- 〔・ボランティア等有償化
- 〔・報酬、手当

川端富夫、大嶋康、角田真由美、信澤毅 班

1. 暮らしをめぐる課題等の発表から、特に印象に残ったこと
気づいたこと

- ・明日は我が身
- ・老若男女それぞれ生活が限界。現実、自身のことでいっぱい。
- ・一つのテーマでもそれに関わる多くの団体がある。
- ・役割がそれぞれ
- ・個々の実情に合った支援（サービス等）が提供できる地域とは？
- ・困っていることを発信する。

2. 地域の暮らしをめぐる課題・・・

（福祉、環境（土地、生活）、教育、災害、文化、他）

現在、地域で取り組んでいることは？

自治会、各種団体、NPO 等としての取り組み

特に頑張っている取り組み：◎

この先、不安な取り組み：△

△三峰太々神楽保存会の高齢化（後釜の発見）

△体協薄根支部（コロナで3年活動なし）

◎ふる里みどりの会（遊休地の除草、用水路の保全活動）

◎石墨棚田保存

・用水の管理

・鳥獣害駆除（猟友会）

・班 道路愛護

◎花いっぱい運動

・団体 環境保全等の普及啓発（イベントや講演会）

△ふれあいサロン

・地区 季節ごとのお祭（同時に道路清掃や杜の清掃）

・祭典委員（老人会）

3. 地域の暮らしをめぐる課題の解決に向けて

どのような対策・工夫がありうるか

現在の取り組みを活かすために

より強化する・充実させるために

- ・デマンドバスの体験乗車
- ・子どもたちの発想
- ・三世代交流会の定期開催
- ・子どもや若い人に知ってもらう活動を増やす。
- ・達人の集まり
- ・住民主導
- ・用水路の現地見学
- ・参加手当の支給（ボランティア活動）
- ・人材育成に補助金を出す。
- ・おまけをつける。
- ・放送システムの充実
- ・取組みを楽しいものにする（BBQ、ピクニック、食事会等と同時開催）
- ・趣味の集まりの強化
- ・きまりの少ないボランティア

倉澤由之、角田祐子、伊藤智康、織田澤清子 班

1. 暮らしをめぐる課題等の発表から、特に印象に残ったこと
気づいたこと

- ・支え合い
- ・介護
- ・担い手
- ・介護サービスはあっても、支える人がいなくなる。
- ・認知症の方が増加。周りは困っても、本人は困っていない。
- ・せっかくデマンドバス、移動販売が可動しているのに、利用できない・しないはどうなのか。
- ・元気な老人の協力で支える側に回ってもらうのには、どんな意識づけがよいのか。

2. 地域の暮らしをめぐる課題・・・

(福祉、環境(土地、生活)、教育、災害、文化、他)

現在、地域で取り組んでいることは？

自治会、各種団体、NPO 等としての取り組み

特に頑張っている取り組み：◎

この先、不安な取り組み：△

- ・NPO 法人ごったく広場(居場所づくり(高齢者、障害者etc))
- ・NPO 法人結いの家(ひとり親、高齢者などへフードバンクの食料を配る。無料学習塾、子ども食堂)
- ・寿会:坊新田町 (ゴミ回収)
- ・老人会(地域の花植え、清掃活動)
- ・沼田市(ハザードマップの全戸配布)
- ・災害が少ない、防災訓練をしたら
- ◎お互いさまのまちづくり 利南に2グループ(イーストスマイルなど)
- ◎中学校区ごとの協議隊活動
- ◎お互いさまのまちづくり(互近助会)
- ◎白沢互近助会
- ◎利根ふきわれお助け隊
- ◎お茶のみにこない会(70歳以上の希望者)
- ◎地域づくりの学習会(組織の見直し、池田のビジョンづくり 他)
- ◎地域づくりの発足で発起人会をひらく

3. 地域の暮らしをめぐる課題の解決に向けて

どのような対策・工夫がありうるか

現在の取り組みを活かすために

より強化する・充実させるために

- ・お互いさまのまちづくり(お年寄りの相互作用)
- ・何でも好きなことに参加する「元気なベテラン会」をつくる。
- ・御用聞き隊を作る(見返りなし)。
- ・担い手を増やすために民生委員の補助要員が欲しい。
- ・交流を深めること。話し合うことの大切さ。
- ・あちこちにベンチを置く(座って話しができる)
- ・自宅の開放(をしても良い人を探す)
- ・現在行っている活動を、地域の人たちにあらためて紹介する機会が必要ではないか。
- ・広く活動を周知する。もっとやりたい人がいるかも。
- ・お互いの団体が情報共有(自分の活動発表)の場をもち、連携していく。※じまん会